

ホームレス支援リーダー養成研修 受講申込書

下記の通り申し込みます。

1. 申込者氏名 (性別) (ふりがな)	氏名 (ふりがな) (男・女)	
2. 会員番号・所属都道府県支部名	会員番号:	支部名:
3. 勤務先名称		
4. 職種		
5. 受講要件 (※いずれかにチェックをしてください)	<input type="checkbox"/> 「住居および就労不安定者支援担当者」(予定者含む) <input type="checkbox"/> 支部における住居および就労不安定者を対象とした支援活動に参加できる	
6. 連絡先・書類送付先の住所 (<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先)	住所 〒	
	勤務先名 (連絡先・書類送付先が勤務先の場合のみ)	
	電話番号:	FAX:
	E-mail アドレス: (ある場合のみ)	
7. 現地体験ツアー (先着順です) (※ 当日の連絡のため携帯電話が必須となります。 希望される方は必ずご記入ください。)	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	
	携帯電話番号:	
8. 研修のキャンセル待ち	申込数が定員数をオーバーしていた際、 <u>キャンセル待ちを希望される方は、下記をチェックしてください。</u> <input type="checkbox"/> キャンセル待ちを希望します。	
9. 備考 受講にあたって特に配慮が必要な事など ありましたらご記入ください。		

※ ネットワークづくりに役立てるため「氏名」「勤務先」「支部名」を記載した「受講者名簿」を作成し、研修受講者に配付します。

【申込方法】 申込書に必要事項をご記入のうえ、次の申込先まで郵便またはFAXにてお申込ください。

(郵便の場合はコピーしたものをお送り下さい。電話での申込は受け付けておりません)

【お問い合わせ・申込先】 日本社会福祉士会 事務局 (営業時間: 月～金曜日 9:30～17:30)

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目13番地 カタオカビル2階

TEL 03-3355-6541 FAX 03-3355-6543 担当/〇〇 E-mail 〇〇@jacsw.or.jp

【申込締切】 2010年2月20日(水) ※申込締切前でも定員となり次第締め切ります。

【受講可否の連絡】 受講可否は2月末日頃までに郵便にてご連絡します。※会場案内、受講費の納入方法、およびキャンセル等の扱いについては、受講可否の連絡時にご案内します。

現地体験ツアー

内容: ホームレス支援の実践現場「炊き出し」の見学。

定員: 10名(先着順) 費用: 1,000円(ボランティア保険加入費含む)

場所(予定): 新宿西口公園(雨天時は東京都都庁近く) ※実施団体: 新宿連絡会

※ 研修会場から現地へは参加者全員で移動します。(スタッフがご案内します)

解散場所: JR新宿駅 終了時間(予定): 21:00

注意事項 ① 動きやすい服装でご参加ください。(防寒にご注意ください) ② 連絡のため携帯電話が必須です。

③ 現地への交通費は自己負担になります。④ 現地体験ツアーのみの申し込みはできません。



全国の「ホームレス」の状況

日本社会福祉士会 ホームレス支援委員会

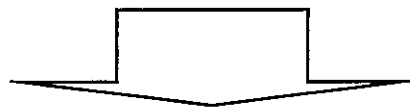
村下 佳秀（東京社会福祉士会）

（元 大阪社会福祉士会大阪北支部）

「ホームレス」の定義 (in日本)

※ ホームレス自立支援法における定義

「都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所として日常生活を営んでいる者」



いわゆる「野宿」をしている人

☆法律上、上記以外の方々は「ホームレス」ではない

※ここで質問・・・

皆さんが考える「ホームレス」は？

「ホームレス」の定義 (in 欧米)

※ 「自分の家を持たない人」
(「自分の家」= 賃貸、持ち家)

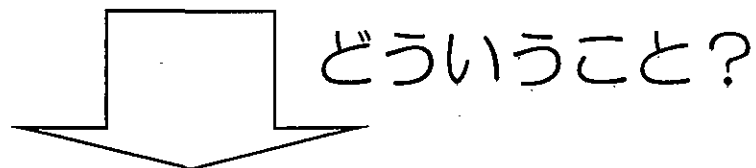
※ 「ホームレス」に含まれる人 (日本でいうところ)

- ・ 「ネットカフェ」 難民
- ・ 施設入所の方々

次に行くところ (住居) がない人

ホームレス支援委員会として

🐛 「予防的支援」の観点

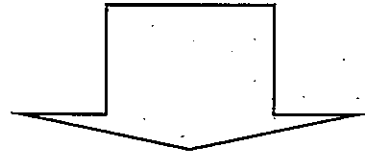


- ・ホームレスにならないための支援

地域での「孤立」を防止する

委員会の考える「定義」

★ キーワードは「予防的支援」



・ホームレスになる可能性の高い人たちへの支援

☆ 「ネットカフェ難民」
☆ 「派遣切り」にあった方々

=

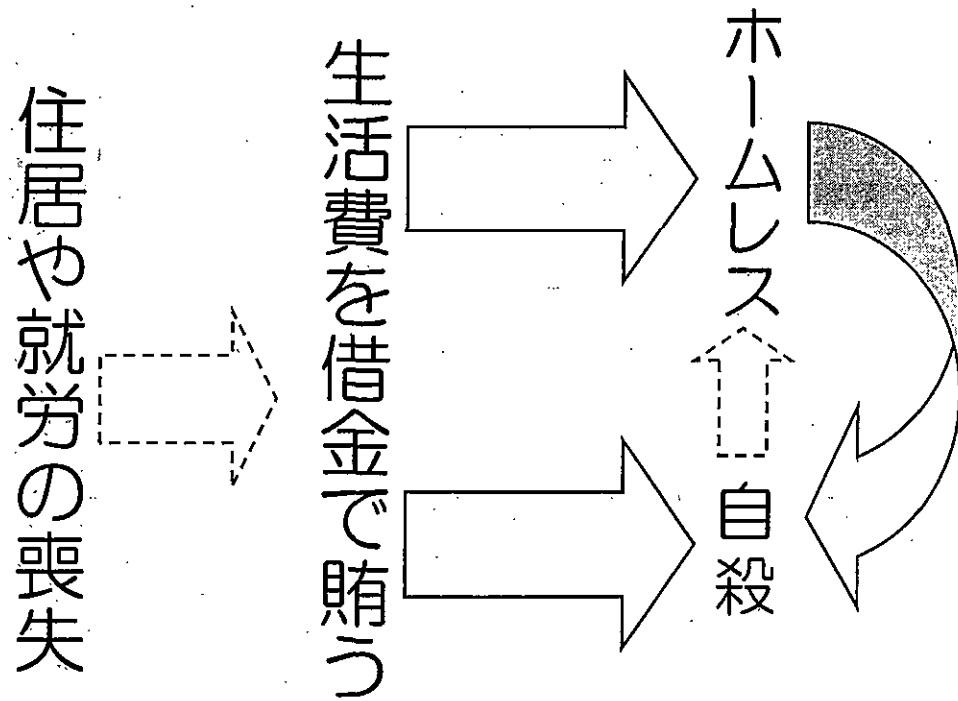
住居や就労形態が不安定な方々



委員会の取り組み

- ✿ 都道府県支部への取り組みアンケート
⇒ 詳細は後ほど・・・
- ✿ 厚労大臣への緊急提言
⇒ 「派遣切り」等への対応を要望
- ✿ 都道府県支部への担当者設置呼びかけ
⇒ 社会福祉士会として取り組みをする必要

さまざまな「結末」・・・

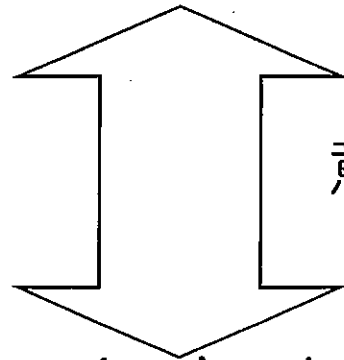


(理由はさまざま)

- ・なぜ「自殺」を選ぶのか
- ・なぜ「ホームレス」を選ぶのか
- ・なぜ「ホームレス」から「自殺」を選ぶのか

統計から見える「貧困」

✪ 基礎となるデータ・・・ホームレス数



意外なことが見えてきます・・・

✪ リンクさせるデータ

- ・ 自殺率
- ・ 失業率
- ・ 就業率
- ・ 最低賃金

などなど

各種統計を見る前に① . . .

★リンクさせる統計を見て . . .

・何を感じますか？

ホームレス数



- ・自殺率＝自殺率が高い→HLも多い？
- ・失業率＝失業率が低い→HLは少ない？
- ・最低賃金＝高い→HLは少ない？
- ・持ち家率＝高い→HLは少ない？

などなど . . .

各種統計を見る前に② . . .

✪ まずは、これだけは覚えてください。

大阪府	4333
東京都	3796
神奈川県	1720
福岡県	1082
愛知県	851

上位5府県

青森県	2
鳥取県	3
島根県	4
山形県	7
秋田県	10

下位5府県

☆全国ホームレス概数調査（平成20年 厚生労働省）

ホームレス数と自殺率

☆ 自殺率から見えてくること (平成15年 厚生労働省)

自殺率 上位5県

上位5県	HL数	HL順位
秋田県	10	43
青森県	2	47
岩手県	23	34
新潟県	38	27
富山県	23	35

自殺率 下位5県

下位5県	HL数	HL順位
徳島県	13	41
岡山県	67	22
奈良県	19	39
神奈川県	1720	3
静岡県	315	10

☆自殺率とホームレス数とは反比例の傾向

⇒「ホームレスができない」環境にあるため？

ホームレス数と最低賃金

✪ 最低賃金から見えてくること (平成18年 総務省)

最低賃金 上位5県

最低賃金 下位5県

上位5県	HL数	HL順位
東京都	3796	2
神奈川県	1720	3
大阪府	4333	1
愛知県	851	5
千葉県	524	8

下位5県	HL数	HL順位
秋田県	10	43
沖縄県	200	11
青森県	2	47
長崎県	11	40
岩手県	23	34

☆最賃上位とホームレス数とは比例の傾向

⇒賃金が高い都道府県に流れる？

ホームレス数と完全失業率

✪ 完全失業率から見えてくること (平成18年 総務省)

完全失業率 上位5県

完全失業率 下位5県

上位5県	HL数	HL順位
沖縄県	200	11
青森県	2	47
高知県	24	33
大阪府	4333	1
北海道	145	12

下位5県	HL数	HL順位
島根県	4	45
岐阜県	67	21
福井県	32	29
愛知県	851	5
三重県	68	20

☆失業率とホームレス数とは比例の傾向

⇒失業=ホームレスは密接な関係?

ホームレス数と求人倍率

✪ 求人倍率から見えてくること (平成18年 総務省)

求人倍率 上位5県

上位5県	HL数	HL順位
東京都	3796	2
愛知県	851	5
大阪府	4333	1
広島県	138	13
神奈川県	1720	3

求人倍率 下位5県

下位5県	HL数	HL順位
高知県	24	33
鹿児島県	59	23
沖縄県	200	12
長崎県	11	42
青森県	2	47

☆求人倍率とホームレス数とは比例の傾向

⇒仕事が多い都道府県に流れる？ (沖縄は海を越えることが難しい!?)

ホームレス数と持ち家率

✪ 持ち家率から見えてくること (平成12年 総務省)

持ち家率 上位5県

上位5県	HL数	HL順位
富山県	23	35
秋田県	10	43
三重県	68	20
福井県	32	29
山形県	7	44

持ち家率 下位5県

下位5県	HL数	HL順位
東京都	3769	2
大阪府	4333	1
福岡県	1082	3
北海道	145	12
沖縄県	200	11

☆持ち家率とホームレス数とは反比例の傾向

⇒持ち家がある＝家を追い出されない (ホームレスにはならないが・・・)

ホームレス数と被保護人員

✪ 被保護人員から見えてくること (平成18年 厚生労働省)

被保護人員 上位5県

被保護人員 下位5県

上位5県	HL数	HL順位
大阪府	4333	1
北海道	145	12
高知県	24	33
福岡県	1082	4
京都府	401	9

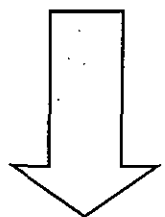
下位5県	HL数	HL順位
富山県	23	35
福井県	32	29
岐阜県	67	21
長野県	13	40
山梨県	41	25

☆保護率とホームレス数とは比例の傾向

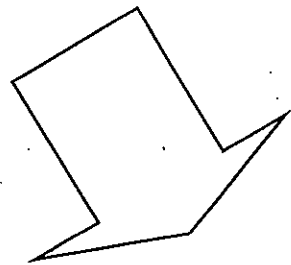
⇒医療扶助等の対応数が多い?

地方でもホームレス問題は関連ある！？

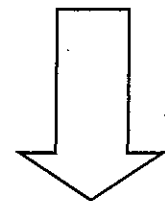
高度経済成長の「金の卵」
＝「家」の次男・三男



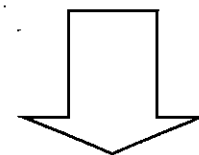
- ・「日雇い」政策
- ・失業や住居喪失



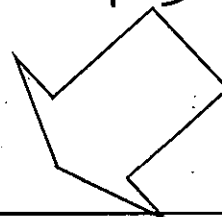
地方の大規模工場の閉鎖



仕事を求めて都市部へ



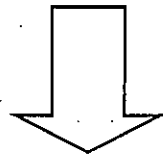
「ネットカフェ難民」



ホームレスに至る・・・

考えられること・・・

持ち家がない

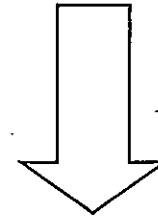


生保を「知らない」
「門前払い」

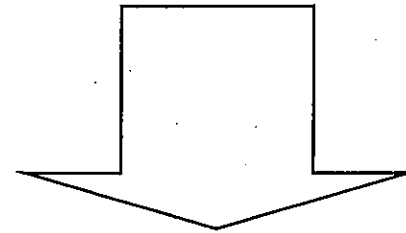
・物はある
・知らない

「暮らしやすい」・・・？

地域のつながり 弱い

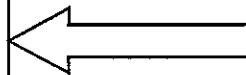
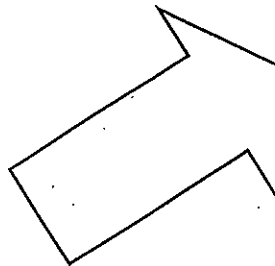


地域に「知られない」



その土地でホームレス・・・

「仕事はあるだろう」

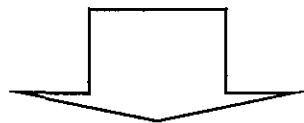


ホームレス数の背景には・・・

なぜ地域にばらつきがある？

(都市部)

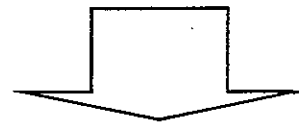
- ・ホームレスにとって住みやすい
- ・地域で生活しても「分からない」



ホームレスが多い？

(地方部)

- ・ホームレスにとって住みにくい
- ・地域で生活しても「すぐばれる」



ホームレスが少ない？



福祉士として、福祉士会として

✿ 貧困の「本質」を捉えた支援

⇒HLを「くくる」と見えなくなる

✿ 個別化と普遍化

⇒個別支援の原則

⇒事例を積み重ねた普遍化

全国的なソーシャルアクションにつなげていく



ありがとうございました

2009年度 自立に向けての就労支援

～就労支援研修～

〔社団法人日本社会福祉士会 生涯研修制度共通研修〕

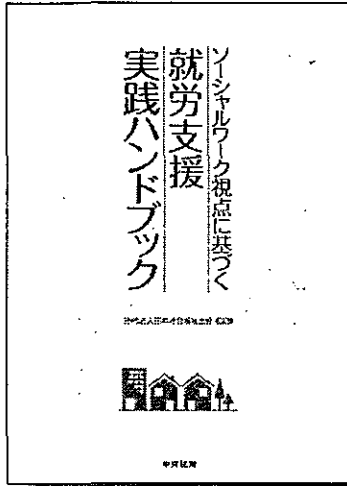
〔研修目的〕 昨今、福祉・労働分野の法改正が行われる中、障がい者、低所得者等が就労を通して自立することが注目されています。また、社会福祉士が就労支援を行うことにより、支援を必要とする方々の就労の世界がこれまで以上に拡大できるとの期待から、社会福祉士養成カリキュラムでは就労支援が新たに科目として位置づけられました。本研修は、社会福祉士の専門的知識・技術及び価値・倫理を基礎として、就労支援に必要な知識を広く学ぶことと、ネットワークを活用して、障がい者、低所得者等の自立に向けて就労支援を行える人材を養成することを目的としています。

1. 日時 2010年2月26日(金)～2月28日(日)(3日間・但し1日目のみの受講も可)
2. 会場 総評会館 204 会議室 (東京都千代田区駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771)
3. 主催 社団法人日本社会福祉士会生涯研修センター
3. 受講対象者 現に就労支援に関わっている方若しくは関心のある方 (非会員含む)。
4. 定員 70名
5. 受講料 全日程受講: 会員 25,000 円、非会員 30,000 円
1日目のみ受講参加: 会員 5,000 円、非会員 7,000 円
※食事・宿泊費は含みません。
※テキストは『ソーシャルワークによる就労支援ハンドブック (仮)』(中央法規出版 2010年1月出版予定、価格 2,600 円予定)を使用します。各自ご購入ください。
6. 申込期間 1月4日(月) 必着
7. プログラム 当研修は生涯研修制度共通研修課程 15 単位 (全日程受講) になります。

(※今回は1日目が就労支援の基礎的な内容、2～3日目が演習を中心とした内容のプログラム構成となっています。1日目のみの受講も可能です。1日目のみ受講の場合は4単位となります。)

時間	1日目:2月26日(金)	時間	3日目:2月28日(日)
12:20	開会・オリエンテーション	9:20	講義③「雇用の現状」(90分) 講師:加藤辰明氏(ハローワーク渋谷)
12:30	講義①「ソーシャルワークとしての就労支援」(120分) 講師:朝日雅也氏(埼玉県立大学)		
14:30	休憩	10:50	休憩
14:40	パネルディスカッション「就労支援の制度と現状」(130分) パネラー: 生活保護関連:渡辺潤氏(大田区蒲田生活福祉課) 母子関連:増山聖子氏(新宿区子ども家庭部子どもサービス課) 障がい関連:山賀亮一氏(ポプラの家) ホームレス関連:戸田由美子氏(社会福祉士事務所ねこのて)	11:00	ワークショップ「当事者の声を聞く」(90分) パネリスト:中島義和氏(ヤマト運輸) 野村啓一氏(ヤマト運輸)
16:50	連絡事項(10分)	12:30	休憩(60分)
17:00	終了	13:30	演習②「忘れないで! 権利擁護の視点」(120分) 進行:就労支援委員会委員
17:30	懇親会		
時間	2日目:2月27日(土)	時間	
10:00	講義②「労働分野における社会資源と関連法」(120分) 講師:佐藤宏氏(元職業能力開発総合大学校福祉工学科教授)	15:30	休憩
		15:40	講義④「まとめと振り返り」(30分) 講師:朝日雅也氏(埼玉県立大学)
12:00	昼食休憩(60分)	16:10	閉会
13:00	演習①「社会福祉士が行う就労支援」(230分) 進行:就労支援委員会委員		
16:50	連絡事項(10分)		
17:00	終了		

ソーシャルワーク視点に基づく 就労支援実践ハンドブック



社団法人 日本社会福祉士会 編集

- 2010年3月発行
- B5判・218頁
- 定価 2,730円
(本体2,600円+税5%)

主要目次

はじめに

<第1部>社会福祉士と就労支援

- 第1章 社会福祉士による就労支援の理念と意義
- 第2章 ソーシャルワークによる就労支援のプロセス
- 第3章 社会福祉士が活用すべき労働分野における社会資源

<第2部>就労支援の実際

- 1. 働く意欲を引き出す就労支援
- 2. コミュニケーションが困難な人への就労支援
- 3. 権利擁護の必要な人への就労支援
- 4. 周囲に働きかける就労支援
- 5. 連携で成功した就労支援
- 6. 生活支援も含めた就労支援
- 7. 離職の支援
- 8. 復職支援

<資料>

第1部は就労支援の意義、ソーシャルワークによる就労支援プロセス、社会資源を解説。

第2部には、15の就労支援・離職支援事例を8つのテーマに分けて掲載。生活支援の一つとしての就労支援を体系的に学ぶことができる。就労支援にかかわるソーシャルワーカー必携の一冊。

FAX購入申込書

中央法規出版 渉外部 → FAX. 03-5354-7437

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-60-5 南新ビル3階 TEL. 03-3379-3865

平成 年 月 日 ④315-079

コード	書名	会員価格	申込冊数
3245	ソーシャルワーク視点に基づく就労支援実践ハンドブック	2,457円 (本体 2,340円+税5%)	冊

ご名称 所属			
お名前 ご担当者			TEL
ご住所	〒 -		
お支払い	1. 公費 2. 私費	必要書類	見積書 (通) 請求書 (通) 納品書 (通)
通信欄	*送料実費 (3冊以上お申込の場合、送料サービス) *請求先と送付先が異なる場合は、通信欄にご記入下さい。		

※お客様の個人情報のお取り扱いについて 個人情報保護管理者 常務取締役 TEL. 03-3379-3899

弊社はお客様の個人情報を商品の発送・納品、代金の請求、入金の確認、返金、サービス実施、弊社の商品、サービス、催し物のご案内、これらの確認のための連絡に使用します。弊社は法令に基づく場合を除いて、お客様の個人情報を当該本人の同意を得ず第三者に提供することはありません。弊社はお客様によりよいサービスの提供のため、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、適切な管理を実施させて業務の一部を外部に委託します。お客様が弊社に個人情報を与えることは任意ですが、お客様が弊社に個人情報を与えない場合には、弊社からの返信やサービスの提供ができな場合がありますのであらかじめご了承下さい。お客様には、ご自身の個人情報の利用目的の通知、個人情報の開示、訂正、追加、削除の要求、利用又は提供の拒否をする権利があります。必要な場合には、下記の窓口までご連絡下さい。

【個人情報問い合わせ窓口】 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-60-5 南新ビル3F 中央法規出版株式会社 企画渉外課長 TEL. 03-3379-3865

